

科目名 (英)		必修 選択		必修		年次	1	担当教員	尾崎・長谷川・安和・松岡・今井
学科・コース		授業 形態		講義		総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 水 木 金
		美容師科							
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)									
美容師実務経験のある教員が、自己分析、グループワーク、お客様体験を通して、職業観を養う。 クラス会議を通し、自己受容・他者信頼・他者貢献を養い、職業人に必要なコミュニケーション力やプレゼンテーション力を身に付ける。									
【授業を通じての到達目標】									
社会人として必要な、共同体感覚を高め、自主的に行動することが出来る。 地域の特性を生かし、業界、職業理解を深める。									
【使用教科書・教材・参考書】						【授業外における学習】			
ipad 筆記用具						毎授業ごとにポータルサイト確認			
回	授 業 概 要							テスト配点	
1	目的・目標の確認 クラス会議の立ち上げ①								
2	クラス会議 傾聴トレーニング (傾聴トレーニングを通じて、コミュニケーションへの意欲を高める)								
3	クラス会議 傾聴トレーニング (傾聴トレーニングを通じて、コミュニケーション力を身につける)								
4	クラス会議 異なる見方・考え方 (アクティビティを通じて、多角的にものごとを捉える力を身につける)								
5	クラス会議 議題を集める (議題の提示を行う中で、他者信頼の心を育み、カウンセリング力を身につける)								
6	クラス会議 問題解決 (共同体感覚を高め、他者貢献を身につける)								
7	中間テスト (学内ルールの再確認) クラス会議 問題解決							中間テスト 20点	
8	3つの習慣振り返り (自身の振り返り、自己分析を行い、主体性を育む)								
9	クラス会議 問題解決 / 就職活動への基礎力 (就職活動に向けて、マナーを身につける)							小テスト 10点	
10	業界研究 ゲスト体験 (サロン調べを行い、業界についての理解を高める)								
11	自分の価値観を理解する (自己分析・好きの理解・価値観を深掘りし、就職活動への意欲を高める)								
12	他者の価値観の理解 (グループワークで互いの価値観をプレゼンし、視野を広げ、傾聴力も養う)								
13	クラス会議 問題解決 業界研究 職種の違いを学び、自身の目指すサロンを見つける							小テスト 10点	
14	クラスの会議 立ち上げ② (共同体感覚の再確認)								
15	定期試験 前期振り返り 後期に向けての自己分析							定期試験 60点	
【特記事項】						【評価について】			
						●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
						●評価 A 評価 (90～100点) / B 評価 (80～89点) / C 評価 (70～79点) D 評価 (60～69点) E 評価 (出席不良・評価資格喪失) / F 評価 (0～59点・不合格)			
						●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	ヘアメイクアップ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岩本/横山/鈴木久美子
学科・コース	美容師科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 月・火(1・2・3・4限)
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
都内で、美容師を経験後ヘアメイク転向。スチール、ブライダル、PVなどのヘアメイクの現場での経験を活かし美容師になった時に撮影などで役に立つテクニックを活かせるような技術を取得していく。 ヘアアレンジではコテやピンニング、道具の使い方、アレンジの技術を基本から学び、サロンで使える様々なヘアアレンジが出来るようにメイクでは道具の種類や扱い方、メイクアップの1つ1つの技術を学び、相手に似合わせたメイクアップが出来るような技術を取得していく。							
【授業を通じての到達目標】							
ヘアアレンジ授業ではブラシやピンなどの道具を使い方から、編みこみやツイスト等のアレンジテクニックのを学び、現場で活かせる基礎を習得する。 メイクでは道具の扱い方を覚え、ベースメイクやアイメイク・骨格に合わせたチークの入れ方・リップメイクなどナチュラルメイクの基本の習得。流行や時代性に合わせたメイクを表現できるようにする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
《メイク》メイク道具一式 タオル3枚 小さいビニール袋 タッカル ティッシュ コットン 綿棒 《ヘア》ウィッグ クラフ タオル コテ ストレートアイロン コーム ブラシ類 タッカル ピン・ゴム類							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	【メイク】メイク道具のセッティングポリゴンメイク、クレンジング スキンケア・ベースメイクの基礎知識と手法						
2	【メイク】前回の授業の復習(スキンケアベースメイク 小テスト) コンシーラ パウダー、 ブラシの使い方・アイシャドウの基本(縦割り・横割りグラデーション)					小テスト(5点)	
3	【メイク】アイラインの種類別引き方・ビューラーの使い方・マスカラのつけ方						
4	【メイク】アイブロウの理論説明・種類と描き方 アイブロウ小テスト					小テスト(5点)	
5	【メイク】リップ・チークの理論と描き方						
6	【メイク】男性・韓国メイク						
7	【メイク】女性・韓国メイク						
8	【メイク】中間試験のデモンストレーション・練習						
9	中間試験(フルメイク40分)					20	
10	【ヘア】ヘア道具・ピンの種類説明 ・ ピニングのやり方						
11	【ヘア】くるりんぱ・ツイスト・波ウェーブを使ったアレンジ 小テスト					小テスト(5点)	
12	【ヘア】裏・表編み込みやり方と編み込みを使ったヘアアレンジ						
13	【ヘア】紐ゴムの使い方と一束のまとめ方・ポニーテール 小テスト					小テスト(5点)	
14	【ヘア】期末試験のデモンストレーション・練習						
15	【ヘア】定期試験(実技試験:編み込みハーフアップ、筆記試験:メイク知識)					60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容技術理論I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	池田 文子
		授業形態	演習	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
学科・コース	美容師科					曜日・時間	月曜日 1限2組/2限1組/3限4組/4限3組
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師実務経験20年、美容技術理論の教員資格を持った教員が担当。内容を理解しやすいよう、単元ごとにパワーポイントや試験問題のプリントを用いて授業を行います。							
目的: 国家試験やサロンでの注意点や重要ポイントを学ぶ。							
【授業を通じての到達目標】							
サロンの実際の例や、現場での事例を交え国家試験はもちろん、サロンで活かせる知識を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美容技術理論1の教科書・プリント							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	美容技術理論を学ぶにあたって、美容道具						
2	美容道具					小テスト5点	
3	シャンプーイング						
4	シャンプーイング						
5	ヘアデザイン						
6	ヘアデザイン						
7	ヘアカッティング					小テスト5点	
8	中間テスト					中間テスト20点	
9	中間テスト解説/パーマメントウェービング						
10	ヘアセッティング						
11	ヘアセッティング					小テスト5点	
12	ヘアカラーリング						
13	ヘアカラーリング					小テスト5点	
14	定期試験前講習						
15	定期試験					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	関係法規	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	高橋由香
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
学科・コース	美容師科					曜日・時間	月曜日1～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師養成施設の講師歴は15年以上です。高等学校第1種免許(公民)取得、更新済みです。 美容師として働くうえで遵守すべき法令や知識を学ぶ科目です。法律や制度に関する専門用語をできるだけわかりやすく伝えます。 目的:美容師法を学び、美容師として公衆衛生の向上に役立てること、また法令違反をした場合の行政処分や罰則について学び、法令順守を理解することを目的としています。 概要:美容師国家試験の筆記試験科目の1つです。この科目では、美容師法や美容業に関連する様々な法規について学び、美容師として、開設者として遵守すべき法令や知識を学びます。							
【授業を通じての到達目標】							
美容師・経営者(開設者)が遵守すべき法令を理解する。 基本的な法律用語や知識を身に付ける。 ルールを守り、美容の業を適正に実践する美容師になる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
公益社団法人日本理容美容教育センター 関係法規・制度、法令集							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	本科目の説明 社会生活における法の役割、法の形式、衛生法規の概要、衛生法規の分類						
2	衛生行政の意義と歴史、衛生行政の分類、保健所の役割					小テスト 2点	
3	美容師法の目的、用語の定義、美容師養成施設					小テスト 2点	
4	美容師試験、免許の申請と登録、欠格条件					小テスト 2点	
5	美容師の義務(衛生措置、美容師免許の変更・紛失などの手続き)					小テスト 2点	
6	免許取消処分・業務停止処分 管理美容師					小テスト 2点	
7	中間試験 (中間試験終了後)美容所を開設するための手続き、美容所の開設届、検査確認					中間試験 20点	
8	中間試験の解説 変更等の届出、重複開設、開設者の継承					小テスト 2点	
9	開設者の義務(衛生措置) 美容所以外での業務、立入検査と検査確認					小テスト 2点	
10	行政処分と罰則					小テスト 2点	
11	衛生に関する法律					小テスト 2点	
12	業の振興に関する法律 雇用に関する法律					小テスト 2点	
13	雇用に関する法律・消費者保護に関する法律 定期試験について、今までの復習						
14	定期試験					定期試験 60点	
15	定期試験の振り返り・総まとめ(練習問題)						
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	池田・中尾・前田・横田・伊東・山崎 中村・松永・佐藤・山下・田丸
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	270 (9)	開講区分 曜日・時間	前期 火～金
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
現役でサロンに勤務する美容師、ヘアメイクアーティストが将来実践の現場で活用できる技術、知識を基礎から応用まで習得できる授業を行う。 カット、サロンワーク、カラー、シャンプー、ヘアメイク、メイクなど美容師としての技術全般を習得する。							
【授業を通じての到達目標】							
卒業後即戦力となる人材になる基礎を身に付ける							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	パーソナルカラー						
2	ファッション						
3	ネイル(ケア)						
4	ネイル(ポリッシュワンカラー)						
5	ヘアアレンジ(編み込み)						
6	ヘアアレンジ(装飾orコーンロー(特殊))						
7	メイク(メンズ)						
8	メイク(韓国・中華)						
9	アイブロウ						
10	携帯写真の上手な撮り方(カメラワーク)						
11	デジタルデッサン						
12	着付け						
13	ヘアアレンジ						
14	まつ毛エクステンション						
15	メンズセット						
【特記事項】 定期テストは模擬試験の結果を基に評価を行う				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点 ●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点） D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容総合技術Ⅰ Beuty PolitekhнизмⅠ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	長谷川・安和・安田・松永
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期
						曜日・時間	火曜日・水曜日
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
学生たちの持つイメージをスタイリングなどで表現し具現化できるように、美容師及び美容学校で長く実務経験を持つ教員が、実習を通じて授業を行い、作品を作り、作品を残すことが出来る。							
【授業を通じての到達目標】							
アイロン技術、スタイリングの技術、再現性を習得。 作品撮りの基礎手順・技術を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
ipad、名札、エブロン、クランプ、茶髪スーパーロングウィッグ、テールコーム(ピンク)、ダックカール5本以上、延長コード タオル(何色でも可、授業内容により枚数は変わる)、カールアイロン、ストレートアイロン、スプレイヤー(トリートメントが入っていないもの) シザーケース(何も入れなくて良い)ーシザーケースはあってもなくてもどちらでも可 油性ペン							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	カールアイロン技術 【フォワード・リバース】 ストレートアイロン技術						
2	カールアイロン技術 【フォワード・リバース】小テスト ストレートアイロン技術					小テスト5点	
3	カールアイロン技術 【フォワード・リバースMIX巻き】【外し巻き】 ストレートアイロン技術						
4	カールアイロン技術 【写真からヘアスタイルを再現】小テスト ウィッグカット 【波巻き】					小テスト5点	
5	カールアイロン技術 【波巻き練習】 【波巻き】小テスト					小テスト5点	
6	ストレートアイロン技術 【メンズセット】 カールアイロン技術 【レディースセット応用】						
7	ストレートアイロン技術 【メンズセット】 【相モデル アイロンワーク】						
8	ストレートアイロン技術 【メンズセット】 【相モデル アイロンワーク】						
9	ストレートアイロン技術 【メンズセット】 小テスト 【相モデル アイロンワーク】					小テスト5点	
10	相モデル アイロンワーク 【カメラワーク】(外部講師)						
11	相モデル アイロンワーク 中間テスト 作品撮りコンセプト作成					中間テスト20点	
12	作品撮り本番						
13	フィードバック・作品撮り(サロン)						
14	動画作成(外部講師)						
15	ヘアメイク総選挙作品撮り					定期試験60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			